

大阪府工業指数2021年7月【速報】

毎月の生産・出荷・在庫の推移

1 概況

(1) 生産指数…97.9 前月比▲5.0% 2か月ぶりの低下(季節調整済指数)

業種別にみると、化学工業、電気・情報通信機械工業など 10 業種が低下し、輸送機械工業、石油・石炭製品工業など 4 業種が上昇した。

品目別にみると、医薬品、橋りょう等が低下した。

また、前年同月比(原指数)は、1.3%と5か月連続の上昇となった。

(2) 出荷指数…94.9 前月比▲3.5% 2か月ぶりの低下(季節調整済指数)

業種別にみると、化学工業、鉄鋼・非鉄金属工業など 12 業種が低下し、輸送機械工業、石油・石炭製品工業の 2 業種が上昇した。

品目別にみると、医薬品、橋りょう等が低下した。

また、前年同月比(原指数)は、0.5%と4か月連続の上昇となった。

(3) 在庫指数…95.1 前月比 2.6% 3か月連続の上昇(季節調整済指数)

業種別にみると、汎用・業務用機械工業、化学工業など 9 業種が上昇し、電気・情報通信機械工業、生産用機械工業など 4 業種が低下した。

品目別にみると、チリングユニット、ポリプロピレン等が上昇した。

また、前年同月比(原指数)は、▲0.7%と10か月連続の低下となった。

2015年=100

区 分		季節調整済指数		原 指 数	
			前月比(%)		前年同月比(%)
生 産	2021年 6月	103.1	5.0	105.6	17.9
	2021年 7月	97.9	▲ 5.0	100.6	1.3
出 荷	2021年 6月	98.3	5.0	98.8	7.7
	2021年 7月	94.9	▲ 3.5	97.6	0.5
在 庫	2021年 6月	92.7	1.5	94.6	▲ 4.9
	2021年 7月	95.1	2.6	96.3	▲ 0.7

生産・出荷・在庫の推移



2 業種分類別・品目別動向(寄与度順)

(1)生産

前月比

▲ 5.0%

上昇 4業種
低下 10業種
横ばい 0業種

計 14業種

区分	業種分類	寄与度	前月比(%)	主な品目
上昇	輸送機械工業	0.922	21.6	鉄道車両、鉄道車両部品
	石油・石炭製品工業	X	X	ガソリン、重油
	プラスチック製品工業	0.162	4.0	プラスチック製機械器具部品、プラスチック製日用品・雑貨
	食品工業	0.062	0.8	ウイスキー、冷凍調理食品
	その他の上昇した品目			飲料用アルミニウム缶【金属製品工業】、超硬工具【生産用機械工業】
低下	化学工業	▲2.552	▲12.4	医薬品、合成アセトン
	電気・情報通信機械工業	▲1.559	▲10.5	無線通信装置(除. 移動通信装置)、セパレート形エアコン(室外)
	金属製品工業	▲0.448	▲5.7	橋りょう、産業用アルミニウム製品
	生産用機械工業	▲0.397	▲3.5	ショベル系掘削機械、フラットパネル・ディスプレイ製造装置
	鉄鋼・非鉄金属工業	▲0.306	▲4.1	普通鋼H形鋼、铸铁管
	電子部品・デバイス工業	▲0.284	▲9.5	アクティブ型液晶パネル
	汎用・業務用機械工業	▲0.161	▲2.2	汎用内燃機関、分析機器
	窯業・土石製品工業	▲0.116	▲5.1	生コンクリート、無アルカリガラス基板
	その他工業	X	X	平版印刷(オフセット印刷)、木製家具
	パルプ・紙・紙加工品工業	▲0.060	▲4.1	段ボール原紙
その他の低下した品目			フェノール【化学工業】、非標準変圧器【電気・情報通信機械工業】	

注:業種分類、品目は寄与度順で掲載

寄与度上位10品目

区分	順位	品目	業種分類
上昇	1	鉄道車両	輸送機械工業
	2	鉄道車両部品	輸送機械工業
	3	プラスチック製機械器具部品	プラスチック製品工業
	4	飲料用アルミニウム缶	金属製品工業
	5	ガソリン	石油・石炭製品工業
	6	超硬工具	生産用機械工業
	7	チリングユニット	汎用・業務用機械工業
	8	重油	石油・石炭製品工業
	9	軽油	石油・石炭製品工業
	10	ダイカストマシン・鋳型機械	生産用機械工業
低下	1	医薬品	化学工業
	2	橋りょう	金属製品工業
	3	合成アセトン	化学工業
	4	無線通信装置(除. 移動通信装置)	電気・情報通信機械工業
	5	アクティブ型液晶パネル	電子部品・デバイス工業
	6	ショベル系掘削機械	生産用機械工業
	7	セパレート形エアコン(室外)	電気・情報通信機械工業
	8	フェノール	化学工業
	9	非標準変圧器	電気・情報通信機械工業
	10	産業用アルミニウム製品	金属製品工業

(2)出荷

前月比

▲ 3.5%

上昇 2業種
 低下 12業種
 横ばい 0業種

計 14業種

区分	業種分類	寄与度	前月比 (%)	主な品目
上昇	輸送機械工業	1.314	16.7	鉄道車両、鉄道車両部品
	石油・石炭製品工業	X	X	軽油、重油
	その他の上昇した品目			エチレン【化学工業】、 プロピレン【化学工業】
低下	化学工業	▲1.339	▲9.9	医薬品、フェノール
	鉄鋼・非鉄金属工業	▲0.942	▲7.2	普通鋼H形鋼、銅荒引線
	生産用機械工業	▲0.591	▲5.4	ショベル系掘削機械、装輪式トラクタ
	金属製品工業	▲0.405	▲4.7	橋りょう、産業用アルミニウム製品
	汎用・業務用機械工業	▲0.225	▲3.4	汎用内燃機関、試験機
	プラスチック製品工業	▲0.188	▲4.7	プラスチック製機械器具部品、プラスチック製パイプ
	パルプ・紙・紙加工品工業	▲0.107	▲7.5	段ボール原紙
	電気・情報通信機械工業	▲0.097	▲1.0	無線通信装置(除. 移動通信装置)、 太陽電池モジュール
	窯業・土石製品工業	▲0.045	▲2.5	生コンクリート、光学用ガラス素地
	その他工業	X	X	平版印刷(オフセット印刷)、木製家具
	食料品工業	▲0.018	▲0.2	ビール・発泡酒、食用油脂
	電子部品・デバイス工業	▲0.015	▲3.1	固定コンデンサ
その他の低下した品目			電動アシスト自転車【輸送機械工業】、 非標準変圧器【電気・情報通信機械工業】	

注:業種分類、品目は寄与度順で掲載

(3)在庫

前月比

2.6%

上昇 9業種
 低下 4業種
 横ばい 0業種

計 13業種

区分	業種分類	寄与度	前月比 (%)	主な品目
上昇	汎用・業務用機械工業	1.096	11.7	チリングユニット、汎用内燃機関
	化学工業	0.475	3.1	ポリプロピレン、石けん類
	輸送機械工業	0.407	15.1	電動アシスト自転車、小型乗用車
	石油・石炭製品工業	X	X	ガソリン、灯油
	鉄鋼・非鉄金属工業	0.358	1.6	鉄鋼切断品、普通鋼小形棒鋼
	プラスチック製品工業	0.142	3.7	プラスチック製機械器具部品、プラスチック製容器(中空成形)
	金属製品工業	0.133	1.2	飲料用アルミニウム缶、電気溶接棒
	その他工業	X	X	マーキングペン、医療・衛生用ゴム製品
	食料品工業	0.026	0.6	食用油脂
その他の上昇した品目			精密測定機【汎用・業務用機械工業】、 パッケージ形エアコン【汎用・業務用機械工業】	
低下	電気・情報通信機械工業	▲0.673	▲4.3	陸上移動通信装置、電気冷蔵庫
	生産用機械工業	▲0.046	▲2.7	ブルドーザ
	窯業・土石製品工業	▲0.046	▲3.6	安全ガラス、研削砥石
	パルプ・紙・紙加工品工業	▲0.019	▲1.1	雑板紙
その他の低下した品目			普通鋼H形鋼【鉄鋼・非鉄金属工業】、 柔軟仕上げ剤【化学工業】	

注:業種分類、品目は寄与度順で掲載

3 業種分類別の推移

数値は季節調整済指数
2015年=100

生産 ————
出荷
在庫 - - - - -

汎用・業務用機械工業



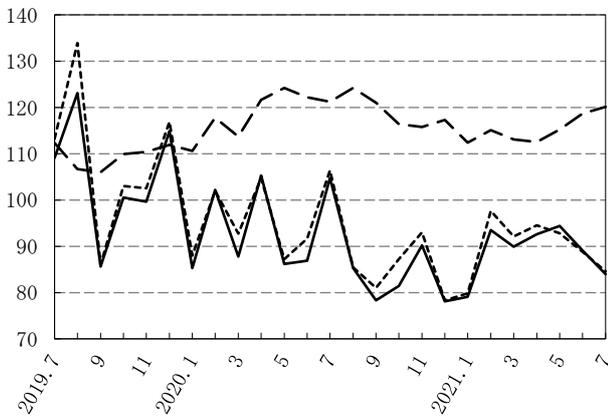
鉄鋼・非鉄金属工業



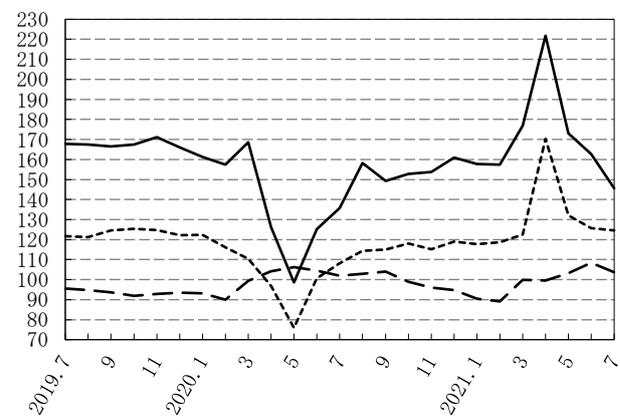
電子部品・デバイス工業



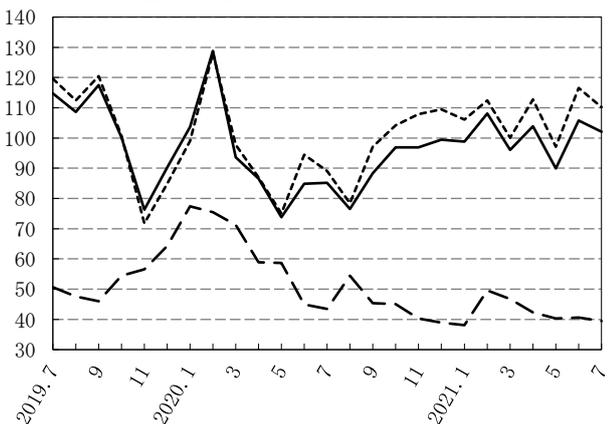
金属製品工業



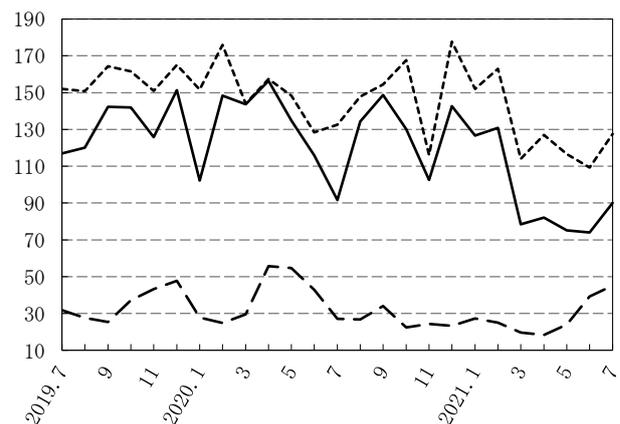
電気・情報通信機械工業



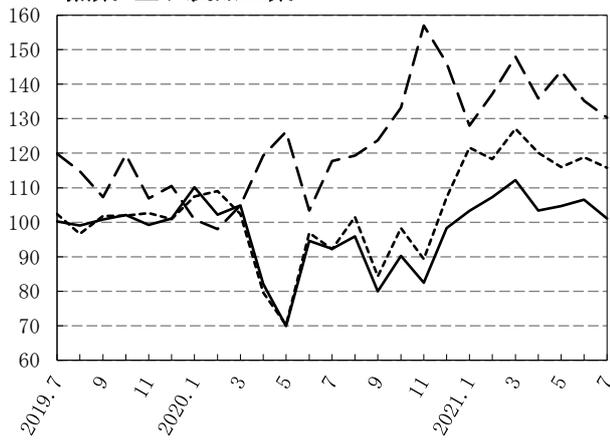
生産用機械工業



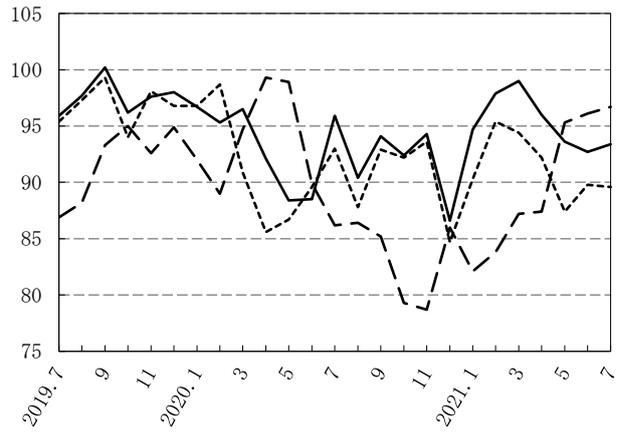
輸送機械工業



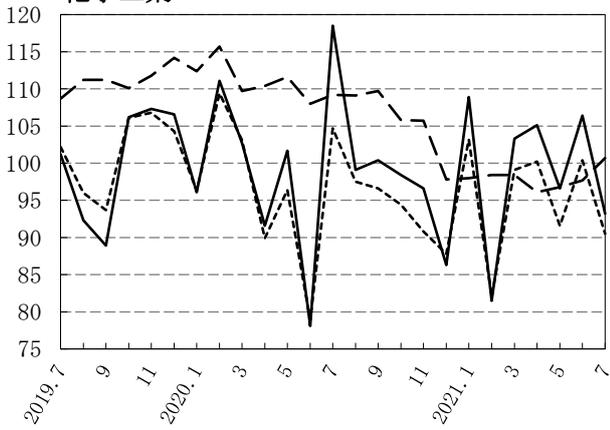
窯業・土石製品工業



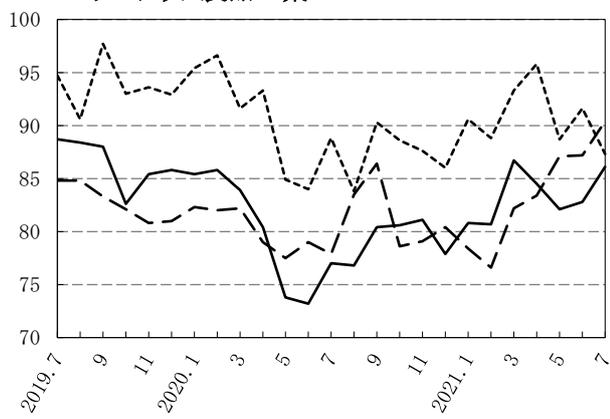
食料品工業



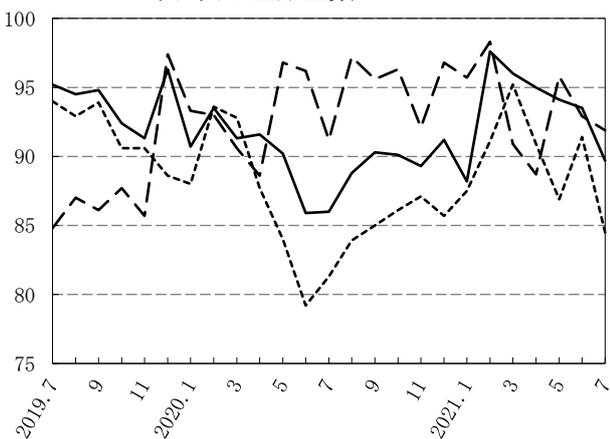
化学工業



プラスチック製品工業



パルプ・紙・紙加工品工業



注:「石油・石炭製品工業」「その他工業」は、秘匿に該当するため、掲載していません。

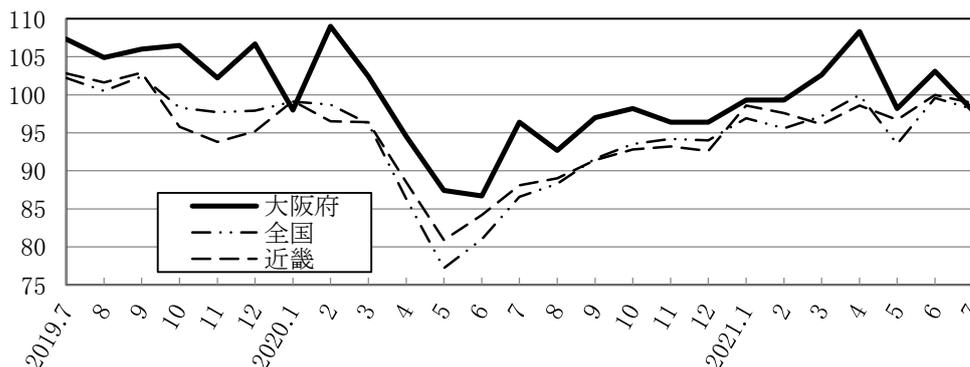
4 全国・近畿の状況(速報)

2015年=100

	大阪府		全国		近畿	
	季節調整済指数	前月比(%)	季節調整済指数	前月比(%)	季節調整済指数	前月比(%)
生産	97.9	▲5.0	98.1	▲1.5	98.9	▲1.1
出荷	94.9	▲3.5	96.1	▲0.6	96.3	▲3.4
在庫	95.1	2.6	95.1	▲0.6	96.4	3.8

注:「全国」は経済産業省、「近畿」は近畿経済産業局が、それぞれ公表したもの

生産指数の推移



1 基準年

基準時及びウェイト算定年は、2015年(平成27年)です。
2015年(平成27年)基準の指数値は、平成31年1月速報(2019年3月29日公表)から公表しています。

2 数値・符号

- (1)掲載している指数値は、当月は速報値、前月は確報値です。
(2)本文中及び統計表等で用いる符号については、次のとおりです。
「▲」…… 負数であることを示す。「X」…… 秘匿に該当することを示す。

3 年間補正

毎月の確報値の公表後に月別の実数値(経済産業省生産動態統計調査などの指数値の計算に利用するデータ)が補正されたため、2019年の年間補正を行いました。
補正後の指数値は、2020年6月速報(2020年8月31日公表)から公表しています。
2020年1月以降の指数値についても、2020年の年間補正により変更される場合があります。

4 季節調整

原指数には季節変動(操業日数や決算時期による生産増減、気候や社会風習(中元、歳暮など)による需給変動など1年間でほぼ規則的に繰り返される動き)が含まれており、原指数から季節変動分を除去したものを季節調整済指数といいます。
前年同月比や年単位の動向をみる場合には原指数、前月比や足下の動向をみる場合には季節調整済指数を利用します。

5 寄与度

ある業種(品目)の増減が業種(品目)トータルでの生産指数、出荷指数、在庫指数の伸び率を何ポイント押し上げ(押し下げ)ているかを示す数値です。

$$\text{寄与度} = \frac{\text{今月のA業種(品目)の指数} - \text{前月のA業種(品目)の指数}}{\text{前月の業種(品目)トータルの指数}} \times \frac{\text{A業種(品目)のウェイト}}{\text{業種(品目)トータルのウェイト}} \times 100$$

▼詳細な統計データや工業指数については、大阪府ホームページをご覧ください。
大阪府ホームページ「大阪府工業指数」 <http://www.pref.osaka.lg.jp/toukei/iip/>

▼本資料についての問合せは下記へお願いします。
大阪府総務部統計課 情報企画グループ 工業指数担当 TEL:06(6210)9195(直通)